

モンゴル旅行に参加して

寺尾 勝汎

今回、DFのモンゴル旅行に参加させていただき、本当に有難うございました。
5泊6日の短い旅行でしたが、十分堪能させていただきました。

「百聞は一見に如かず」、これが仕事や旅行で海外を歩きまわった小生の信念です。
仕事で世界の半分くらいは廻り、定年後は行き残した土地をめぐり歩くのを楽しみにしておりました。

中央アジアは(シルクロードの言葉にまどわされている部分もあると思いますが)ロマンをかきたてられる場所で、いつか行ってみたいと思っておりました。
モンゴルは、12世紀のチンギスハーンの大征服の地域を眼でしっかり見たいと思っており、今回、岩山と大草原の一端をバスで回り、はるか昔に思いをはせてみました。

また、モンゴル国の将来のポテンシャルの手応えを感じました。
男性も女性もみなさん体格が立派で、男性の半分くらいは相撲取りになれるのではないかと思います。
東南アジアの猥雑な活気はありませんが、皆さん礼儀正しく知性的で、国会議員の方々や商工会議所の方々の国を思う心と日本に対する期待をヒシヒシと感じました。

小生は定年後、社会保険労務士として人事・労務のコンサルタントをしております。
中小企業の経営について、人事・労務方面でお手伝いできれば幸甚と思います。
社労士会では韓国、インドネシア、ベトナムと交流があります。是非、モンゴルも加えていただけたら、にわかモンゴルファンとして嬉しいので、機会を見て社労士東京に話してみようと思います。

これで、未踏の土地が一つ消えました。これからも旅を続けるつもりですが、モンゴルの経験は本当に貴重で、一生の宝にしたいと思っております。